

## 【九戸村】

### 1人1台端末の利活用に係る計画

#### 1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

学習指導要領及び中央教育審議会答申「「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～」(令和3年1月)において示されている「個別最適な学び」と「協働的な学び」について、以下の学びの姿を目指す。それぞれの学びを一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に取り組む。

##### (1) 個別最適な学び

学習指導要領に示されているように、指導方法や指導体制の工夫改善により「個に応じた指導の充実を図る。また、ICT環境の活用、少人数によるきめ細かな指導体制の整備を進め、「主体的・対話的で深い学び」を実現することにより、自らの学習の状況を把握し、主体的に学習を調整することができる児童生徒を育成する。

##### (2) 協働的な学び

探究的な学習や体験活動等を通じ、児童生徒同士で、あるいは多様な他者と協働しながら、自ら問題を発見して課題を設定し、解決していく児童生徒を育成する。

#### 2. GIGA第1期(令和6年度まで)の総括

本村では、令和2年度から1人1台端末の整備や無線ネットワーク環境の整備を行うとともに授業支援アプリのロイロノートやAI型ドリル教材等を導入し、「個別最適な学び」「協働的な学び」の充実を図った。また、村内の教員等で構成されるICT推進協議会が主導でICT活用指導力を向上させるための校内研修等を実施した。

#### 3. 1人1台端末の利活用方策

##### (1) 1人1台端末の積極的活用

本村では、令和7年度に1人1台端末の更新を予定しており、更新後も児童生徒が日常的に端末に触れ、効率的に学習が行える環境を確保するため、端末の整備を継続する。

##### (2) 個別最適・協働的な学びの充実

児童生徒の学習進度や個性に合わせた学習、児童生徒同士やオンライン環境を活用し他者と協力して問題解決ができるよう、引き続きAI型ドリル教材等のデジタル教材の拡充、ネットワークの改善を行い、個別最適な学びをより充実させるための環境を整備する。また、児童生徒が自分で調べたり、考えをまとめ、発表・表現したり、「生徒同士」「教職員と生徒」で双方向でのやりとりをする場面を授業に取り入れ、協働的な学びの充実を図る。

### (3) 学びの保障

学校不適応や障がいのある児童生徒等、全ての児童生徒に学びの場を確保できるよう、それぞれのニーズに合った学習環境を整備し、誰一人取り残されない学びの保障を推進する。合わせて、児童生徒の心身の状況把握や教育相談を行うため、端末を活用した「心の健康観察」を行い、適切な支援につなげるため、健康観察・教育相談システム等の利用について検討する。

## 4. 今後の計画

今後も1人1台端末の環境を整備し、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させていくことは重要である。そのためにも今回整備する端末の更新が必要となる時期（5年後を予定）に、確実に更新し、児童生徒の学びに空白が生まれないようにしたい。